



# 夢・挑戦

令和7年度 第11号  
田鶴小学校 学校通信  
令和7年 7月 18日

## 夏休みは「挑戦」のチャンス！【一学期終業式】（7月18日）

一学期の始業式で、「夢」と「挑戦」についてお話ししました。これは、田鶴小学校の校訓であり、この学校だよりのタイトルでもあります。「夢はたくさんを経験する中で、きっと見つかります」と伝えました。本日の終業式でも、「夢」「挑戦」の話をしました。

この一学期、学校でもたくさんの経験をしました。女ノ浦海岸のゴミ拾い、ヒラメの赤ちゃんの放流、震度6の地震体験、避難所開設の体験。町探検ではお店や工場、駐在所の見学に行きました。iPadを使った作曲体験や、万博遠足もありました。数えきれないほどの経験を通して、子どもたちは多くのことを学び、感じてくれたことと思います。

明日からは、子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。夏休みは、普段の学校生活ではなかなかできないことに挑戦する最高のチャンスです。「面白そうだな」「やってみたいな」と感じることを、ぜひ積極的に見つけてもらいたいと思います。例えば、たくさんの本を読んで新しい世界を知るのも良いでしょう。自由研究で興味のある昆虫について深く調べてみるのも素晴らしい経験になります。ボランティア活動に参加してみるのも、新しい発見があるかもしれません。

そして、お子さんが何かを頑張ったら、たくさん褒めてあげてください。達成感を一緒に味わい、その努力を認めてあげてください。新しいことに挑戦して得られる達成感や、自然の中で感じる感動、そういった一つひとつの経験が、子どもたちを大きく成長させてくれます。

実り多き夏休みになることを心から願っています。

2つ目のコーナーでは、災害時にも衛生を保つための仮設トイレと、プライバシーを確保するテントの組み立てを体験しました。



3つ目のコーナーでは、ガスを使った発電の体験を行いました。これは、停電時に電力を確保する方法を学ぶ貴重な機会となりました。



すべての体験と片付けが終わった頃、最初に水を加えた非常食が食べごろに。子どもたちは、自分たちで準備した非常食を試食し、災害時の食事について実感できたようです。



今回の出前授業は、子どもたちが防災意識を高め、災害時にどう行動すべきかを具体的に考える良い機会となりました。

## 自分の命は自分で守る④ 避難所開設体験【4年】（7月10日）

先日、有田市防災安全課による出前授業が行われました。今回の授業では、避難所開設体験を通して、災害時の行動や避難生活について学びました。

まず、非常食に水を入れました。食べられるようになるまで約70分かかりますが、これはお湯が使えない状況を想定しているためです。実際の避難生活では、水しか手に入らない場合が多いため、こうした準備も大切な経験となります。



次に、避難所開設のための資材を自分たちで講堂まで運びました。資材や食料・水は、屋上へ続く階段の踊り場および出口付近に保管されています。（万が一のために知っておいてください。）

3つの体験コーナーがあります。1つ目はダンボール製のパーティションを組み立てる体験です。これで避難生活においてプライバシーを確保できます。



## 自分の命は自分で守る⑤ 着衣水泳【6年】（7月18日）

着衣水泳では、子どもたちが「もし服を着たまま水に落ちてしまったらどうなるか」を実際に体験し、命を守るための実践的な方法を学びました。通常の水着での水泳では得られない貴重な経験です。

水着の上から服を着てゆっくりと水に入り、歩いてみます。服が体にまとわりつく感覚や重さを経験することで、いざという時にパニックにならず、冷静に対応する力を養います。



ペットボトルやボール、レジ袋、大きなゴミ袋など、身近なものを活用して浮く練習も行いました。最後は、3分間浮き続けられるかに全員でチャレンジ！子どもたちは、万が一の事態に備える大切なスキルを身につけました。



※5年生は警報発令のため、残念ながら着衣水泳を実施できませんでした。来年度は必ず実施する予定です。